病院名 市立川西病院

【基本情報】

1 経営の健全性

①経常収支比率(%)

105.0

100.0

95.0

90.0

85.0

80.0

2次医療圏域		阪神北				
経営形態		公営企業法全部適用				
	一般	250	(234)	高度急性期	0	(0)
	療養	0	(0)	急性期	250	(234)
病床数	結核	0	(0)	回復期	0	(0)
稼動()	精神	0	(0)	慢性期	0	(0)
	感染症	0	(0)	合計	250	(234)
	合計	250	(234)			

【診療科目】

②医業収支比率(%)

79.7

89.3

92.3

A-----A-----A---

H24 H25

77.3

89.0

92.7

②患者1人1日あたり入院収益(千円)

79.5

89.5

91.9

95.0

90.0

85.0

80.0

75.0

70.0

65.0

類似平均

全国平均

50.0

40.0

30.0

20.0

10.0

0.0

TIE WILLIAM						
内科	0	産婦人科	0			
精神·神経内科	-	眼科	0			
小児科	0	耳鼻いんこう科	0			
外科	0	放射線科	0			
整形外科	0	歯科・口腔科	-			
脳神経外科	-	麻酔科	0			
皮膚·泌尿器科	0	その他	-			
整形外科 脳神経外科	0 -	歯科・口腔科 麻酔科	- 0			

H26

78.7

87.8

89.9

H26

46.1

38.3

H27

46.3

H27

81.9

【医療機能】

救急告示病院	0	人間ドッグ	0
臨床研修病院	0	人工透析	-
がん診療連携拠点病院	-	ICU•CCU	-
感染症指定医療機関	-	NICU•未熟児室	0
へき地医療拠点病院	-	運動機能訓練室	0
災害拠点病院	-	放射線診療	-
地域医療支援病院	0		
特定機能病院	-		
病院群輪番制病院	0	1	

グラフ凡例

当院 ---類似平均 --▲- 全国平均

資金不足比率について、平成26年 度に、医師の確保による診療体制の 充実に伴う給与費の増加などによ)、25.8%となったが、入院・外来の 医業収益の増加に加え川西市から の財政支援により、平成27年度は、

健全化計画に基づき、収入確保・

13.8%と改善した。 また、経常収支比率、医業収支比 率については、費用超過の状況が 続いており、他団体との比較におい

て低い水準にあると認識している。 経費節減を行い、経常収支比率、医 業収支比率等の改善に向けた取り 組みを行う。

2 収入確保・経費節減

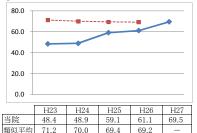
H23

91.7

97.4

①病床利用率(%)

全国平均 100.2



A----

B-----

H24

89.3

97.3

100.3

H25

90.7

97.1

99.4

H26

92.3

97.2

99.1

H27

94.2

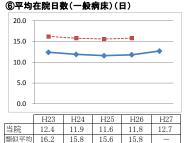
	H23	H24	H25	H26	H27
当院	48.4	48.9	59.1	61.1	69.5
類似平均	71.2	70.0	69.4	69.2	_

43.7

37.3

42.7

36.1



③累積欠損金比率(%)

250.0

200.0

150.0

100.0

50.0

0.0



H23 H24 H25 H26 H27

188.6 205.1 198.0 149.4 138.5

	H23	H24	H25	H26	H27
当院	8.6	9.4	9.4	9.7	9.7
類似平均	9.3	9.5	9.7	9.7	_

⑦薬品使用効率(%)

④病床100床あたり職員数(人)

17.9

④資金不足比率(%)

H23

6.6

30.0

25.0

20.0

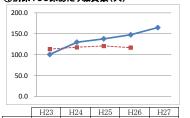
15.0

10.0

5.0

0.0

当院



H24 H25 H26 H27

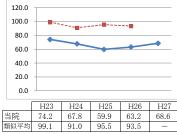
16.0 25.8 13.8

	H23	H24	H25	H26	H27
当院	100.5	129.8	137.7	147.5	164.7
類似平均	113.4	117.8	120.8	116.7	

H24 H25

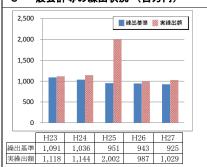
46.2

37.6



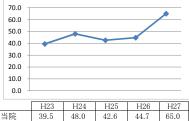
※薬品収益/薬品購入原価 (比率が高いほど薬品収支がよい)

一般会計等の繰出状況(百万円)



※繰出基準:性質上、病院に対して一般会計等が負担すべき経費(救急、高度医療など) ※実繰出額:病院に対して一般会計等が実際に負担した経費

⑤患者紹介率(%)



※初診患者に占める文書紹介された患者及び救急搬送された患者の割合

【分析】

経営分析総括

平成26年度決算において、資金不 足比率の超過から、経営健全化団 本となり、平成28年3月に、平成27年 度から30年度の4年間を計画期間と する「市立川西病院経営健全化計 画」を策定し、現在、計画に基づく収 支改善に向けた取り組みを展開して

①経営の健全性

②収入確保・経費節減

平成27年度は、整形外科の充実を 図るとともに、入院・外来患者を積極 的に受け入れるため休床中であった 病棟を再開するなどの体制の整備、 救急搬送患者の積極的受入れの実 施などにより病床利用率が改善し

病床100床あたり職員数について は、医師の充実や病棟再開に必要 な看護職員の増員に伴い増加して いるが、職員数見直しに取り組む。 患者紹介率については、平成26年 12月に地域医療支援病院の承認を 受け、地域医療機関との連携強化を 図ったことから上昇した。

地域医療支援病院として7対1看 護基準を堅持し、収支改善に取り組 しでいく方針である。

③一般会計等の繰出状況

平成27年度は、これまでどおり医 療収入を充てることが適当でない経 費等、国が定める基準に基づく繰出 を行うとともに、基準外の繰出しとし て、経営健全化団体となったことによ)必要となった個別外部監査に係る 経費3,850千円や、経営健全化計画 こ基づき、経営安定化支援補助金 50,000千円を新たに繰出した。